

第 13 回議会報告会 報告書

地域名	養父地区		
年月日	平成 27 年 10 月 21 日 (水)	会場名	ふれあいセンターやぶ
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 05 分
参加数	男性 15 人	女性 0 人	合計 15 人
班 長	田中久一	司会者	田中久一
報告者	荒田幹夫	書記	藤原敏憲
班員名	田中久一、荒田幹夫、寺田耕司、藤原敏憲		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	<p>①農地を取得するのに、大屋は 10 アールで良かったが、他の地区は農地を 30 アール持っていなければならなかった。現在はどうなっているのか。</p> <p>②八鹿病院の赤字が年々増えているが、その要因は何か。</p> <p>③「はさまじ里山の森公園」に関する補正予算が議会で修正されたが、その要因は何か。</p> <p>④地元の声を代表すると言っていたが、地元の声を聞きながら、なぜ修正案に反対したのか。</p> <p>⑤予算特別委員会では賛成し、本会議では反対したが、その理由は何か。</p> <p>⑥広瀬市長になって初めての予算議案修正であった。議会として市に対するチェック機能が果たされていないのではないか。</p> <p>⑦議会改革調査特別委員会の任務は何か。</p>	<p>①現在は養父市内全域が 10 アールとなっている。</p> <p>②かつては 50 名を超す医師がいたが、現在は 37 名に減っている。医師が減ることで患者数が激減しており、赤字の主な要因は医師不足によるもの。</p> <p>③「議会だより」にも記しているが、協定書どおりにすべきなどの理由で、当局提案の補正予算を修正した。</p> <p>④地元として頑張ってもらったことは評価する。地元のことを考えねばならないが、養父市全体のこと考えねばならない。この施設を絶やしてはいけないとの考えで、修正案に反対した。</p> <p>⑤当初は修正すべきと考えたが、この施設をやめられては困ると考えて補正予算に賛成した。</p> <p>⑥議員それぞれの立場でチェック機能を果たすよう努力している。市民から見て不信な面がないよう今後も頑張っていく。</p> <p>⑦議会としての本来の役割を果たすため、さまざまな検討を重ねている。現在は議員定数、報酬などを検討している。</p>	
意見交換会での質疑	<p>①消防団員の確保が難しいと聞いている。どのようになっているのか。</p>	<p>①団員確保が難しい地区が増えている実態にある。一度退団した団員を「機能別団員」として再入団するシステムを今年初めて導入するなど努力している。</p>	

市 民		対 応
意見交換会での質疑	<p>②消防ポンプ車等購入時に、旧養父町は地元負担をとっている。区長として地元負担をなくするよう要望書を提出している。どうなっているのか。</p> <p>③大藪地区に一度説明のあった、農地に太陽光発電施設を設置する話は、その後何もない。どうなっているのか。</p>	<p>②議会の委員会としても、消防団からさまざまな意見聴取もしている。市としても地元負担のことについては検討を進めている。</p> <p>③議会としては詳細は聞いていない。当局に伝える。</p>
その他（提言など）	<p>①消防団員の確保には、対象者の親の理解が必要だ。市として、消防団の必要性を親に理解してもらおうよう努力してほしい。</p> <p>②養父小学校、養父幼児センター等に関連する道路の除雪が雑である。もっと丁寧にしてほしい。</p> <p>③議員はもっと普段から地域を回って実情を知る姿勢を見せてほしい。</p> <p>④介護保険で要支援の市民が各地域に任せられようとしており不安だ。</p> <p>⑤社会福祉協議会やシルバー人材センターは、市の直属機関ではない。市の対応が必要だ。</p>	<p>①市に伝える。</p> <p>②市に伝える。</p> <p>③ご意見としてお聞きした。</p> <p>④ご意見としてお聞きした。</p> <p>⑤ご意見としてお聞きした。</p>
備考	なし	

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

平成 27 年 11 月 11 日

報告者 1 班 班長 田中 久一

